

## 大気環境測定局新規設置に係るコスト等について

### 1. 測定局舎整備

常時監視に係る測定局の構造は、①既存の建物の一部を利用して建設する場合と、②一戸建てとして建設する場合がある。

②の一戸建ての場合は、1)固定タイプとして、経済性、組み立て、解体の容易さから木造、プレハブ造り等、2)コンテナタイプとして、アルミ製や鉄製のコンテナに測定器を設置するものがある。2)の場合は、防火上の問題は少ないが、地震による傾斜等の被害を避けるために、基礎に固定する工事が必要である。

いずれの場合も入札により決定されるが、既存の建物の一部を利用する場合は例えば、50～250万円程度、一戸建ての場合は例えば260万～2,000万円程度と規模や仕様によっても額が異なる。

### 2. 測定局舎及び自動測定機に必要な経費

#### (1) 局舎維持管理費

局舎の維持には、空調設備に係る電気使用料、機器の洗浄等のための水道使用料、取得したデータを送信するための回線使用料が必要であり、その費用は局舎の規模や整備機器の内容によって多少の変動はあるが、おおよそ年間40万円程度である。

#### (2) 機器購入及び保守・点検費

局舎整備と同様に、機器の購入及び保守・点検は入札による場合がほとんどであるため、その落札額はそれぞれ異なってくる。

NO<sub>2</sub>の場合は、機器購入額は例えば約120万円～370万円程度、SPMの場合は例えば約160万円～490万円程度となっている。また、その年間保守費用はNO<sub>2</sub>では約31万～44万円程度、SPMでは約8万～19万円程度となっている。

保守点検では測定項目をまとめて入札している場合もあり、気象計も含めた7項目の場合、年間110万～180万円程度で実施している例もある。

### 3. 手分析モニタリングに必要な経費

#### (1) ベンゼン

ベンゼンの測定は、定点において月1回以上の頻度で1年間にわたって測定を実施しており、1地点当たりの年間測定費用は、例えば28万～94万円程度。

#### (2) ダイオキシン類

大気のだいおきしん類の測定は、1地点当たり年4回（夏季及び冬季を含め年2回以上）測定を実施しており、1地点当たりの年間測定費用は、例えば18万～90万円程度。